

町の人たちの心意気が感じられて



夏の宵、町内を走る祭りの神輿、夕闇の中に行き交う多くの人たちが、店先を飾る灯籠やのれん、伝統を受け継いだ老舗、お洒落で個性が感じられる店頭などなど。高鍋は、商店街が協力し合い、助け合って伝統的な行事を盛り上げている元気なまちです。

多くの人でにぎわう商店街

あきんど 商人フェスタ



商人フェスタは、町の公民館駐車場を利用して毎年2月に行われ、特産品などの販売のほか、子どもたちの太鼓や踊り、演奏などがあります。来場者にとっては寒さも吹き飛ばす楽しい1日となります。

東児湯鍋合戦

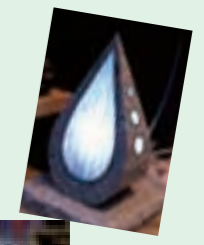


毎年11月の恒例行事ともなっている「鍋合戦」です。高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町の東児湯5町などの団体が自慢の鍋料理を披露し、訪れた人たちのお腹を満たします。高鍋町は毎年、地元の特産品を生かした鍋料理で勝負し、2度の鍋将軍に輝いています。



洗練されたデザインが目を惹きます

「個人的な「のれん」と「石の灯籠」の数々



店頭を彩る個性あふれる灯籠たち

商店街の活性化のために「まちなか商業活性化協議会」が作られました。その中で「城下町高鍋まちなか活性化事業」として「あかりプロジェクト」や「のれんプロジェクト」が計画され、店頭を飾る個性あふれる「石の灯籠」や、店の商いを示す独創的な「のれん」が生まれました。

高鍋を訪れると思わず足を止めて見入るほど、デザイン力にあふれた灯籠やのれんの数々です。

「工業」Industry

新たな企業の誘致を推進!

高鍋は企業立地候補地として優れたまちです。

豊かな自然と生活基盤の整った環境、流通に欠かせない交通アクセスの良さ、各種優遇制度の完備、優れた人材の確保が容易で、企業にとっては魅力的なまちです。



株式会社 黒木本店

「百年の孤独」で有名な酒造会社。自家農園（農業生産法人「甞る大地の会」）で、焼酎カスの肥料を作り、再び原材料の芋作りに生かすリサイクルと有機農法で地域循環型農業に取り組んでいます。



宝酒造株式会社 黒壁蔵

昭和27年操業開始、高鍋町と深い関わりのある宝酒造(株)黒壁蔵は、20種類以上の焼酎の原酒を生産し、個性的な麦やそば、芋焼酎も造っています。

高鍋の工業の今

現在町内には、地元企業の代表的なものとして(株)黒木本店があります。「百年の孤独」で有名な焼酎メーカーで、有機農法で自家栽培された原材料を使い焼酎を造っています。

そのほか、昭和二十七年に創業した宝酒造(株)黒壁蔵と南九州化学工業(株)など歴史のある企業もあります。

これまで高鍋町が誘致した企業は、紳士服縫製の勝田被服(株)高鍋工場や、鶏肉加工の(株)宮崎中部食鳥などがありますが、いずれも活力ある企業です。

整備された交通アクセス

高鍋町の面積は四三・九二平方キロメートルと、県内では一番小さな自治体です。しかし、国や県の出先機関があり、児湯地方の政治、経済の中心地となっています。

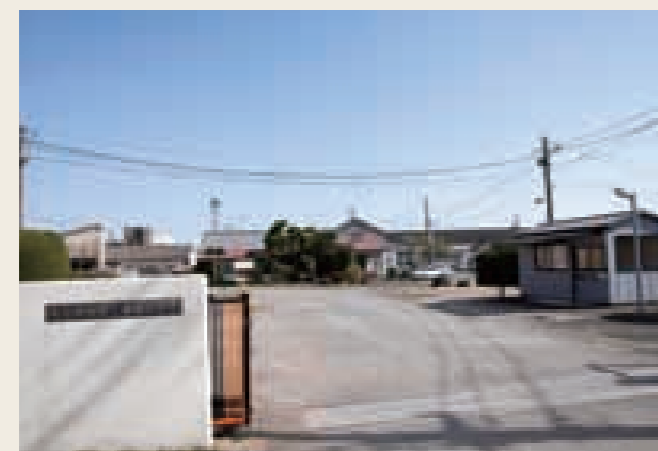
また、東九州自動車道高鍋IC、縦に走る国道十号、町内を走る八路線の県道など、流通には欠かせない交通アクセスの要所となっています。大型輸送に必要な港は、車で約一時間で行く宮崎港や日向細島港があり、宮崎空港までも一時間以内で行けます。

高鍋町は以上のような有利な立地条件とともに、各種優遇制度も設け、優良企業の誘致に力を入れています

必要人材育成にも力を入れています。子どもたちの自立性、自立性を育て、リーダーシップを育成するなど、将来有能な若者を育てるべく、町民と行政が協働で子どもたちの育成に携わっています。



高鍋インターチェンジ



南九州化学工業株式会社

昭和27年12月、南九州化学工業(株)を設立、熔成燐肥を製造。その後農業用資材や培土の製造販売も手掛けるようになりました。肥料、培土を通じて地域の農業に貢献し、地域に溶け込んでいる企業です。